

## 自己評価報告書(最終報告)

報告者

社会系コース/山本 準

### ■平成24年度の目標に対する自己点検・評価

#### I. 学長の定める重点目標

##### I-1. 科研費申請に向けた計画等

国立大学法人運営費交付金は年々削減され、教員の研究費配分も厳しくなっており、教員各自が研究のための外部資金を獲得しなければならない状況である。そこで、科研費申請に向けて、あなたが考えているテーマと計画等について示してほしい。

#### 1. 目標・計画

教育においては、学生がより良き教員になれるよう、講義・演習・ゼミを通して教師としての実践力を高めるところに役立つような教育指導を行っていく。特にゼミ生には、修士論文および卒業論文作成の指導をするとともに、教員採用試験のための面接や小論文への対策と指導を行う。

#### 2. 点検・評価

「教員採用試験のための面接や小論文への対策と指導を行う」という目標をもとに活動し、学部ゼミ生3人に対して面接練習や小論文指導を行い、無事3人も教員採用試験に現役合格した。

##### I-2. 大学院学生定員の充足に向けた取り組み

専攻・コースのこれまでの大学院学生定員の充足状況を踏まえた上で、あなたは定員充足のためにどのような取り組みを行うか、具体的に示してほしい。

#### 1. 目標・計画

学会等の人間関係、その他の人的関係を利用し、鳴門教育大学大学院の存在を周知することに努め、興味・関心を持つ学生がいれば積極的に働きかけるものとする。

#### 2. 点検・評価

知人・友人を通して鳴門教育大学を紹介するとともに、卒業後現職教員をしている学生に対し、鳴門教育大学への現職派遣を希望するように勧めている。

## Ⅱ. 分野別

### Ⅱ-1. 教育・学生生活支援

#### 1. 目標・計画

教育に関しては一方的な講義という授業をすることなく、学生との双方向的な授業を展開するよう心がける。具体的には、学生の発言を促し、また学生の意見も聞きながら授業を展開する。また演習等を利用し、学内だけではなく学外での学習活動を積極的に進めるようにする。さらに学生個々の生活状態や学習状態に配慮し、安心して学生生活が過ごせるように指導する

#### 2. 点検・評価

講義を学生への発問を多く取り入れた双方向的な講義とし、演習においては論文のまとめ方などなどの指導をした。

### Ⅱ-2. 研究

#### 1. 目標・計画

現在研究中の四国八十八か所の写し霊場の調査研究をまとめる。徳島県内に存在する写し霊場の調査はほぼ終了したが、まだ数か所の霊場の調査が残されているのでそれを完了する。また、従来から研究を続けていた、近代化過程における人口構造の変動についても研究を進める。

#### 2. 点検・評価

写し霊場の調査は、県内の霊場のうち8割程度の霊場の調査を終えたが、まだ全数調査を完了していない。次年度には全数調査を完了したい。

## Ⅱ-3. 大学運営

### 1. 目標・計画

学内の各種委員会の委員としての活動を通して、大学運営に寄与する。

### 2. 点検・評価

大学運営に関しては、人文社会系教育部の副部長として、また教育研究評議会委員として大学運営に寄与できるよう活動した。

## Ⅱ-4. 附属学校・社会との連携, 国際交流等

### 1. 目標・計画

社会との連携に関しては、地域の審議会や委員会等への委員の就任を要請された場合、積極的に参加し地域への協力と連携を行う。

附属学校との連携に関しては、教育課題探究で附属学校・園からの要請があれば積極的に応じることとする。

国際交流に関しては、留学生が安心して研究できるように環境整備に努めるとともに、生活の支援にも細心の注意を払うこととする。

### 2. 点検・評価

社会との連携に関しては、徳島労働審議会会長、鳴門市情報公開審査会会長など、各種の審議会の委員を務めた。国際交流に関しては、留学生の学習支援、生活支援に努めた。

## Ⅲ. 本学への総合的貢献(特記事項)

特になし